

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

第2期長岡市まち・ひと・しごと創生事業

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

新潟県長岡市

### 3 地域再生計画の区域

新潟県長岡市の全域

### 4 地域再生計画の目標

本市の総人口は、平成7（1995）年の293,250人をピークに減少を続け、令和2（2020）年には266,936人となり、令和17（2035）年には233,826人、令和32（2050）年には197,104人にまで減少する見込みである。

年少人口は昭和60（1985）年の61,973人をピークに令和32（2050）年には17,862人に、生産年齢人口は平成2（1990）年の192,279人をピークに令和32（2050）年には98,143人まで減少する一方で、老年人口は昭和60（1985）年の37,199人から令和32（2050）年には81,099人と増加が続く見込みであり、今後も少子高齢化がさらに進むことが予想される。

自然減及び社会減による人口減少も継続しており、自然増減については平成15（2003）年以降、死亡数が出生数を上回り、令和6（2024）年には2,944人が減少するなどその差分は年々拡大傾向にある。また、平成12（2000）年以降、転出者が転入者を上回る社会減は一定の幅で継続しているが、昭和60（1985）年から平成2（1990）年までの3,404人の減少に対し、平成27（2015）年から令和2（2020）年までは1,012人の減少となるなど、減少幅は減少傾向となっている。

こうした激動の中でこそ、各地域で培ってきた文化・歴史・精神性や先人たちから受け継がれてきた「米百俵」の精神と「協働」によるまちづくりという本市の原点に立ち返り、市民、企業、行政などが一丸となって地域課題に立ち向かわなければならず、時代の潮流や世界の動きを的確に捉え、良いものは残しつつ、変えるべ

きところはダイナミックに変えていく必要がある。

本市は、明治以降、人づくりと産業振興において、固定観念にとらわれず新しいことに挑戦し、未来への投資に取り組んできた。イノベーションに挑戦することで発展してきたまちであり、この精神こそが長岡市の原点であり、本市の強みである。

本市が持続的に発展するために、さらなるイノベーションに挑戦し、新たな価値を創造する産業の振興を通じて都市の魅力や拠点性を高めるとともに、行政サービスの変革を通じて市民生活の質の向上を図っていくことが重要である。

イノベーションの先進都市として、市民一人ひとりが人らしく幸せを実感し、住み続けたいと思えるまちとなるとともに、その存在感を高めることで人を惹きつけ、離れても戻ってきたいと思えるまちとなり、全国・世界の人々や企業から選ばれるまちとなることを目指す。

### 基本目標

- 1 誰にも優しく寄り添う共生社会のまち
- 2 子ども・若者が夢や希望をもち、誰もが学び続けることができるまち
- 3 災害や雪に強く、暮らしやすい安全安心なまち
- 4 産業が成長し活力を創出するまち
- 5 にぎわいや交流が生まれる魅力あるまち
- 6 市民の期待に応え、信頼される行政を推進するまち

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	市民活動に参加した人の割合	18.7% (R7)	20.0%	基本目標1
ア	婚姻組数	785組 (R5)	785組	基本目標1
ア	自殺死亡率	26.4 (R5)	18.5	基本目標1
ア	平均自立期間	男性 80.2歳	男性 81.1歳	基本目標1

		女性 83.1歳 (R5)	女性 84.0歳	
イ	学校外の学びの満足度	35.6% (R7)	43.0%	基本目標 2
イ	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合	81.0% (R6)	83.0%	基本目標 2
イ	自分には良いところがあると思う児童生徒の割合	84.0% (R6)	87.0%	基本目標 2
イ	子育て環境や支援に対する満足度	未就学児保護者 67.0% 小学生保護者 63.4% (R6)	未就学児保護者 77.0% 小学生保護者 73.0%	基本目標 2
ウ	自主防災組織の活動率	67.0% (R6)	75.0%	基本目標 3
ウ	公共交通等の人口カバー率	98.5% (R6)	99.3%	基本目標 3
ウ	快適で住みやすいまちづくりを進めていると思う人の割合	59.7% (R7)	64.5%	基本目標 3
ウ	高速道路網へ5分以内に到達できる面積	88.2km <sup>2</sup> (R7)	110.1km <sup>2</sup>	基本目標 3
エ	市内製造品出荷額等	7,124億円 (R5)	8,300億円	基本目標 4
エ	市内農林水産物等産出額	190億円 (R5)	250億円	基本目標 4
オ	戦争や平和について考える機会が提供されている	76.1% (R7)	80.0%	基本目標 5

	とを感じる人の割合			
オ	ふるさと納税リピーター	22,928人 (R6)	26,200人	基本目標 5
オ	移住相談窓口や各種支援制度を利用して長岡に移住した人数	209人 (R5)	310人	基本目標 5
オ	延宿泊者数 (カッコ内は、その内の外国人宿泊者数)	45万人 (内 外国人 1.8万人) (R6)	50万人 (内 外国人2 万人)	基本目標 5
カ	電子申請利用率	39.8% (R6)	45.0%	基本目標 6
カ	「市民にとって必要な行政サービスや政策が実施されている」と思う人の割合	52.6% (R7)	60.0%	基本目標 6
カ	実質公債費比率	8.0% (R6決算)	13.0%以下	基本目標 6

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

長岡市まち・ひと・しごと創生事業

ア 誰にも優しく寄り添う共生社会のまちづくり事業

イ 子ども・若者が夢や希望をもち、誰もが学び続けることができるまちづ

## くり事業

- ウ 災害や雪に強く、暮らしやすい安全安心なまちづくり事業
- エ 産業が成長し活力を創出するまちづくり事業
- オ にぎわいや交流が生まれる魅力あるまちづくり事業
- カ 市民の期待に応え、信頼される行政を推進するまちづくり事業

## ② 事業の内容

### ア 誰にも優しく寄り添う共生社会のまちづくり事業

困難に直面している人びとに寄り添い、誰もがいきいきと暮らせる社会を実現する。人と人が出会い、思いや課題を共有しながら、知恵を出し合い、新たな価値を生み出す「市民協働のまち長岡」の実現を目指す。

さまざまな背景や立場に関わらず、多様な価値観を認め合いながら、お互いを尊重し協力しあう社会を実現する。

#### 【具体的な事業】

- ・市民協働によるまちづくりの推進
- ・多様性を認め合い、自分らしく暮らすことができるまちづくりの推進
- ・市民が支え合う地域福祉の実現 等

### イ 子ども・若者が夢や希望をもち、誰もが学び続けることができるまちづくり事業

人づくりはまちづくりとする「米百俵」の精神を受け継ぎ、ふるさと長岡に愛着と誇りを持つ人材を育てることは、人々が幸せを創り出していける共生社会の実現に繋がる。子どもの確かな学びを実現するための質の高い教育・保育環境を充実させるとともに、個々の興味関心に応じたさまざまな学び・体験・交流ができる機会をつくる。

子どもや保護者の多様化するニーズにきめ細かに対応し、安心して子育てができる環境を創る。地域全体で子育てを応援し、未来を担う子ども・若者が、自分らしく、一人ひとりが思う幸福な生活ができる社会の実現を目指す。

「米百俵プレイス ミライエ長岡」を拠点とし、未来を担う子ども・若者の学びやチャレンジを応援する。あらゆる年代の人が、主体的に学ぶ喜びを実感できるまちを目指す。

**【具体的な事業】**

- ・あらゆる年代における学び・体験・交流の充実による人材育成
- ・ふるさとに誇りをもち、共に認め支え合う社会の実現に向けた教育の推進
- ・一人ひとりを大切にした多様な育ちと学びの切れ目ない支援 等

**ウ 災害や雪に強く、暮らしやすい安全安心なまちづくり事業**

平時においても緊張感を持つことを説いた「常在戦場」の精神や、中越大地震からの復興の経験や教訓を伝承し、不測の事態に備え、不断の努力を怠らず、自助・共助・公助の取組を強化する。

利便性が高い公共交通網を構築するとともに、公助・共助・互助や新技術の導入など、様々な方法を組み合わせ、将来に渡って持続可能な移動手段を確保する。

安全安心で持続可能なまちづくりのために、DX 技術を活用するなど、効率的なインフラの整備・保全と除雪イノベーション(※)に取り組む。

**【具体的な事業】**

- ・防災対策の推進と消防・救急体制の充実
- ・効率的な除雪体制の推進、消雪施設などの適正な維持管理
- ・生活の安全安心の確保 等

**エ 産業が成長し活力を創出するまちづくり事業**

明治期に新たな時代の殖産興業をめざし官や民の垣根を越えて互いに知恵を出し合った長岡初の経済団体といわれる「ランプ会」の志を受け継ぎ、中堅・中小企業を取り巻く事業環境の大きな変化を好機と捉え、市民の創造力を結集して、経済を持続・発展させるイノベーションを推進する。

人口減少・労働力不足に直面した今こそ次世代産業への取組を通じ、産業全体を活性化させるとともに、IT 技術を活用した人材の育成と新たな働き方の導入により、誰もが生き生きと働くことのできる環境づくりを進める。

**【具体的な事業】**

- ・強みを生かし未来を見据えたオール長岡による産業振興

- ・誰もがキャリアを活かしたいいきいきと働くための人への投資と産業集積の創造

- ・次世代につなぐ活力ある農林水産業の実現 等

#### オ にぎわいや交流が生まれる魅力あるまちづくり事業

火焰土器、国漢学校、長岡花火といった文化財や教育・観光資源、地場産品、暮らしの知恵は、先人の英知と努力によって創造された。これら地域の魅力を市民の誇りとして未来に継承するとともに、今を生きる長岡人の魅力と合わせて広く発信する。

県内唯一の大規模戦災都市である長岡市は、世界の恒久平和を願い「非核平和都市」を宣言した。悲惨な戦争の記憶を風化させることなく平和の尊さを後世に語り継ぎ、長岡から世界へ平和の灯を広げる。

##### 【具体的な事業】

- ・非核平和宣言都市・長岡の推進
- ・歴史・文化や伝統の継承
- ・関係人口の創出・拡大と移住定住の促進 等

#### カ 市民の期待に応え、信頼される行政を推進するまちづくり事業

人口減少社会においても、デジタル技術の積極的な活用や民間事業者との連携などにより、市民ニーズを的確に捉えた質の高い行政サービスを提供するとともに、その基盤となる健全な財政を堅持し、持続可能な行政運営を行う。

先進技術を活用して業務の自動化・オンライン化を進め、いつでもどこからでも行政サービスを利用できる、市民に身近で利便性の高い市役所を目指す。

##### 【具体的な事業】

- ・時代の変化に適應した持続可能な行政運営と市民サービスの高質化
- ・市政運営の基盤となる健全財政の確保 等

※なお、詳細は長岡市総合計画のとおり

#### ③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

#### ④ 寄附の金額の目安

1,000,000 千円（令和 8 年度～令和 12 年度累計）

⑤ **事業の評価の方法（P D C A サイクル）**

毎年度 8 月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取り組み方針を決定する。検証後速やかに長岡市公式 W E B サイト上で公表する。

⑥ **事業実施期間**

令和 8 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日まで

**6 計画期間**

令和 8 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日まで